

香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町五丁目1番29号

TEL (087) 832-7140

FAX (087) 832-7150

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



上佐山からの初日の出 (高松市西植田町)

目次

- 1. 新年のご挨拶 香川県土地改良事業団体連合会 会長 大山茂樹2
 全国土地改良事業団体連合会 会長 二階俊博3
 都道府県土地改良事業団体連合会会長会議 顧問 進藤金日子4
 都道府県土地改良事業団体連合会会長会議 顧問 宮崎雅夫5
 四国土地改良調査管理事務所 所長 平山真大6
 香川用水二期農業水利事業所 所長 前田 茂7
 香川県農政水産部 部長 新池伸司8
 香川県農政水産部 次長(兼)土地改良課長 井川一郎9
 香川県農政水産部農村整備課 課長 中村正樹10
- 2. 本会第2回監事会開催/本会第191回理事会開催11
- 3. 農業農村整備関係の令和3年度補正予算及び令和4年度予算の概算決定/
 香川県管理運営体制強化委員会第2回管理専門指導員会12~13
- 4. 大川・中部地区土地改良協議会・高松市土地改良区連合会合同周知会並びに
 土地改良相談開催14
- 5. 中讃管内土地改良事業研修会並びに土地改良相談開催15
- 6. 会と催し16



新年のご挨拶

香川県土地改良事業団体連合会
会長 大山茂樹

明けましておめでとうございます。

会員各位をはじめ、農業農村整備事業関係者の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、日頃から本会の運営に対しまして、格別のご支援、ご協力を賜っておりますことに、改めて厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、一年間延期されていた夏季オリンピック・パラリンピックが、緊急事態宣言下の東京で開催され、ほぼ無観客での開催ではありましたが、日本は史上最多となる金27個を含む58個のメダルを獲得し、世界中の人々に勇気と希望、感動を与えました。

一方、このウイルスの感染者は昨年も増減を繰り返し、国内では緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用が繰り返され、対象となった都道府県では、飲食店に対する時短・休業要請やイベントの開催制限・停止、住民への外出自粛要請など厳しい措置が取られました。そうした中、11月30日に新たな変異株であるオミクロン株感染者が国内で初めて確認され、その感染力の強さや感染時の重症化リスク等を見極めながら、最大限の警戒をするという対応が取られているところであります。また、感染拡大を防ぐため、2月からスタートしたワクチン接種は、10月末までに人口の7割を超える人が2回目の接種を完了し、昨年末から医療従事者を対象に3回目の接種が始まっております。皆様方には、くれぐれも引き続き、感染予防にご留意いただきますようお願い申し上げます。

さて、昨年10月4日に開かれた臨時国会で自民党の岸田文雄総裁が首相に選出され、第100代総理大臣が誕生し、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の宮崎雅夫氏が農林水産大臣政務官に就任されました。こうした中、国の予算については、必要額獲得のため、「闘う土地改良」を合言葉に全国の土地改良事業関係者及び関係団体が一丸となって努力を重ねたことが実を結び、令和3年12月24日に閣議決定された令和4年度政府予算案においては、農業農村整備事業関係予算は4,468億円、令和3年度の補正予算と合わせて6,300億円と、厳しい予算折衝の中で前年と同額の予算を確保することができました。

なお、各土地改良区では、令和4事業年度からの複式簿記化に向け、鋭意準備を進められていると思いますが、本会としても、国の補助事業である土地改良区体制強化事業の複式簿記会計巡回指導を活用し、今年度は40土地改良区を対象にきめ細やかな指導を行うよう努めているところであります。加えて、複式簿記移行に伴い土地改良施設台帳の見直しを行った今こそ、実態に合った「維持管理計画書」の更新が必要であることから、今後、農業用水利施設の適切な管理を行うため、当該計画書の整備についても支援してまいります。

本会といたしましては、国土強靱化や農業農村の防災・減災対策等の実現を図るため、更に皆様方と一緒に闘っていくことが極めて重要であると考えており、先人から受け継いだ施設等の更新・維持管理を中心に、香川県が目指している「農業の持続的な発展と活力あふれる農村づくり」に向け、会員及び関係者の皆様方とともに、各種事業の着実な推進に努めてまいり所存でありますので、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様方のより一層のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会

会長 二階 俊 博

令和四年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が世界各国で拡大する中で、新しい年を迎えることとなりました。我が国では、ワクチン接種が進み感染者数は減少しているものの、世界的には変異株の感染が拡大し予断を許さない状況が続いております。

皆様には、感染防止のためにできることを今一度ご確認いただき、コロナ禍を共に乗り越えて頂きたいと願っております。

さて、昨年三月に新たな土地改良長期計画が策定され、三つの政策課題に取り組むこととされました。生産基盤の強化による農業の成長産業化、多様な人が住み続けられる農村の振興、農業・農村の強靱化といった政策課題に対して具体の施策が定められ、中でもスマート農業実装の加速化、ため池の防災対策の集中的かつ計画的な推進、流域治水の推進は、今後の農業農村整備を進める上で大事な要素となってくるものです。

令和四年度予算につきましては、これらの政策課題の解決に向け、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,468億円を確保することができました。この結果、令和三年度の補正予算を含めると6,300億円となります。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

一方、第五次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても土地改良区等の女性理事登用が成果目標とされたところであり、我々、土地改良団体においても将来の組織体制強化のためにも、女性参画を進めていかなければなりません。

私たち土地改良に携わる者としましては、政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におき農業農村の振興に積極的に貢献していくことが重要であると考えております。また、農業農村の維持、発展に大きく貢献していることについて広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力も必要であります。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう引き続き奮闘して参りたいと思います。

また、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員と宮崎雅夫参議院議員が元気に全国を飛び回り、まさに「車の両輪」となって活躍されています。本年は進藤さんの2回目の闘いとなりますが、今後は、進藤さん、宮崎さんの活動と連携して、更に一層「闘う土地改良」の浸透が図られるよう念じております。

最後になりますが、輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問

参議院議員

進 藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、香川県の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただいてから、早5年半が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和3年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額1,832億円（TPP等対策：774億円、米対策：46億円、国土強靱化5か年加速化対策：1,012億円）です。令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円（令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。）であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、①農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加（現在は区画整理と農地造成のみ）、②「農地耕作条件改善事業」の助成対象に田んぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等とともに除草機器を追加、③省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和、④「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」（防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備）を新設（国費率を従来の30%から50%に嵩上げ）、⑤「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線での政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。香川県内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高く厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。



新年のご挨拶

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問

農林水産大臣政務官 参議院議員 宮崎 雅夫

香川県土地改良事業団体連合会会員各位ならびに関係の皆様にご挨拶を申し上げます。また、旧年中は私の政治活動に多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年10月に発足した岸田内閣ならびに11月発足の第二次岸田内閣において、農林水産大臣政務官を拝命いたしました。これも偏に香川県の皆様ならびに、進藤金日子参議院議員はじめ先輩国会議員のご指導とご支援によるものであり、本年も新たな気持ちで現場主義に徹しつつ皆様のご意見をお伺いしながら一層努力して参る所存ですので、引き続きご指導くださいますようお願いいたします。

さて、ここ2年に亘って農林水産業をはじめ各方面に影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、国民の皆様のご協力によって、昨秋以降の感染者数は低位に推移しています。しかしながら、新たな変異株による感染の拡大も懸念される昨今の状況からは決して油断することはできません。

昨年、新型コロナウイルスの影響により19カ国で農産物・食品の一時的な輸出規制が実施されたことを踏まえれば、経済安全保障の重要性が叫ばれる中、食料の多くを輸入に頼る我が国にとって食料安全保障の確立は非常に重要な課題であり、そのためには我が国の農林水産業の持続的発展が不可欠です。

こうした中、昨年末には皆様のご協力により、令和4年度当初予算案が閣議決定されるとともに、臨時国会において令和3年度第1次補正予算が成立し、農業農村整備事業の関連予算として合計6,300億円を確保することができました。

令和4年度当初予算においては、前年度当初予算を上回る4,468億円が計上され、農地の集積・集約化等を促進する大区画化等の生産基盤整備の推進、近年の激甚化・頻発化する自然災害に対応する、ため池整備、流域治水など、防災・減災、国土強靱化対策の加速化、さらには、農業水利施設等の老朽化対策等を図ることとしており、また、令和3年度補正予算においては、TPP対策の推進や防災・減災、国土強靱化対策を加速するため1,832億円が計上されており、全国の皆様のご要望にしっかりと応えることができる規模となっています。

さらに、これから国会で議論される令和4年度当初予算においては、みどりの食料システム戦略やカーボンニュートラルの実現等にも寄与する、農林水産業の発展や農山漁村の活性化等に必要な土地改良を着実に推進するため、予算に関連する制度改正を行うこととしており、主な事項としては、これまで地震対策のみ対象としていた、ため池等の急激な防災事業について、豪雨対策としても実施できるようにすること、農地中間管理機構が借り受けた農地で行う区画整理事業について、対象工種に農業用水路や農道を追加すること、市町村や土地改良区による機動的な防災対策事業の実施のため、土地改良事業団体連合会が必要な資金調達や技術支援を提供できるようにすること、また、組織の維持が困難となった小規模な土地改良区において、法人格を維持しながら認可地縁団体等に移行できる手続きを設けることなどの土地改良法改正を予定しています。予算と制度が車の両輪となって土地改良の効果が十二分に発現できるよう、引き続き進藤金日子議員とともに頑張って参る所存です。

これからも皆様とともに土地改良の推進を図っていくため、もう一つの大切な車の両輪である進藤金日子議員と一緒に国政において取り組んで行けるよう、香川県の皆様におかれましては格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様お一人おひとりとご家族にとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしく願いいたします。



新年のご挨拶

中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所
所長 平山 真大

新年明けましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、日頃から香川県内の農業農村整備事業へのご理解ご支援、また、新型コロナウイルス感染症の感染が続くなか農業・農村振興へのご尽力を賜っていますことに心より感謝申し上げます。

四国土地改良調査管理事務所は、現在、丸亀市飯山町に本所、坂出市及び愛媛県松山市に分室・支所を置き、四国管内における①国営土地改良事業の実施に関する調査計画（地区調査、全体実施設計等）、②国営土地改良事業によって造成された施設の管理に必要な調査・調整（ストックマネジメント、流域治水等）、③農業水利施設等に関する情報管理・分析（水利権更新等）ほかを行ってきています。

香川県内では、「香川用水二期地区」が農業水利事業所において国営事業の実施段階（事業実施中）ですが、調査管理事務所は同地区で事業実施の整備対象以外の施設等の調査を実施しています。四国管内における事業の実施に至るまでの調査・計画段階、及び、事業の完了以降の管理段階において、調査管理事務所は上記の業務①②③ほかを行い、管内の各地区に対して将来に渡ってフォローアップを続けていく役割を担っています。

さて、令和3年12月24日に閣議決定されました令和4年度農林水産予算概算決定におきまして、農業農村整備事業関係予算は4,453億円、令和3年度補正予算（防災・減災、国土強靱化、TPP対策等）1,832億円と合わせて6,285億円が確保される見込みとなっています。農地集積・集約化、担い手確保・経営継承などの推進施策とも連携しながら、これらの予算を計画的、効率的に活用し、香川県内の重要なかつ緊急の課題への効果的な対策につながるものと考えます。

特に香川県内では、担い手の経営規模拡大や麦、野菜などの作付けによる土地利用向上の一方で、多様な品目の生産・消費が可能で、小規模・高齢・家族経営農家が多いという地域特性を踏まえ、地域振興施策をはじめとする他の関連施策と連携して事業を実施することが重要と考えます。また、人口減少・少子高齢社会の中で田園回帰・農村定住促進など次世代の農業・農村創造のためにも、政府が進める男女共同参画社会の農業分野（土地改良含む）での取組を同時に進めていくことが不可欠と考えます。

時代とともに農業・農村を取り巻く状況が変化し続けます。調査管理事務所は、日頃から土地改良区はじめ地元関係者、関係機関の方々と連携して、地区の特徴を踏まえ、現地の課題解決に向けた調査計画等を進めてまいります。そして、前歴事業を通じて築かれてきた農業経営と農村生活を守り、さらに次世代の農業農村に向けて新たな事業の実現を目指してまいります。

今後とも引き続き、事業の調査・計画、管理段階からの皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

中国四国農政局香川用水二期農業水利事業所
所 長 前 田 茂

新年明けましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

香川県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には、平素より国営かんがい排水事業「香川用水二期」の事業推進に格段のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、工事実施に際しては、関係の土地改良区や水利組合、市町、県出先機関、(独)水資源機構香川用水管理所の皆様方に大変なご尽力をいただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

昨年3月には「土地改良長期計画」が閣議決定され、その中でスマート農業の推進や流域治水などの取り組みが位置付けられました。また、6月には農林水産業の生産性の向上と持続性の両立を目指す「みどりの食料システム戦略」が農林水産省において策定されました。農林水産省といたしましては、こうした情報を周知するとともに、引き続き皆様の声を伺い、農政に反映できるよう、しっかり連携させていただきたいと考えています。

特に土地改良長期計画においては、「土地改良区の理事のみならず、総代における女性の割合が極めて低い現状等を踏まえ、土地改良区関係者の男女共同参画に対する理解の促進や意識改革を勧めながら、比較的組織運営体制の整った土地改良区等から実現を目指す」とされています。成果目標には「土地改良区(連合を含む)の理事に占める女性の割合10%以上」とされています。農政局は、管内での土地改良区等との意見交換を通じて、男女共同参画推進パンフレットを作成し、啓発活動を進めております。誰もが意欲に応じて活躍できる男女協働社会の実現に向けて関係者とともに検討いただきたいと思います。

昨年12月には、令和3年度補正予算が国会で成立し、農業農村整備関係予算は1,832億円が計上されました。また、令和4年度当初予算の政府案が閣議決定され、農業農村整備関係予算は4,468億円が計上されました。いずれも、農業生産基盤の強化や防災・減災、国土強靱化対策を主軸としつつ、グリーン、デジタル、地方活性化に対応した予算となっております。当地区に割り当てられる予算を有効に活用し、皆様と連携して工事を着実に進めてまいり所存です。

香川用水二期農業水利事業は老朽化した幹線水路等の改修を進めており、令和3年度当初予算までで進捗率は89%となり、令和4年度で9年目を迎えます。令和4年度においては、東部幹線水路はさぬき市昭和～寒川町石田東の管水路の改修、高瀬支線水路は三豊市豊中町比地大で管水路の改修、及びその他幹線水路の付帯設備の改修を予定しております。

本年も工事実施に当たり必要な事前の説明を行い、皆様の理解を求め、コスト縮減を図り、令和5年度の事業完了に向けて円滑な工事の実施に努めてまいります。引き続き皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、貴連合会のますますのご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

香川県農政水産部

部長 新池 伸 司

令和4年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、香川県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には、農業農村整備の推進はもとより、県政各般にわたり格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症につきましては、昨年7月から9月に全国的に感染急増がみられ、本県においても、8月13日に新規感染者数が初めて100人を超え、8月20日から9月30日にかけては「まん延防止等重点措置」が実施されました。当時と比べ県民のワクチン接種は進み、新規感染者数も抑えられておりますが、会員の皆様におかれましても「新しい生活様式」の実践や感染防止対策に努めていただきますよう、引き続きご協力をお願いいたします。

さて、国では、令和2年3月に「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定し、食料・農業・農村の持続性を高めながら、「産業施策」と「地域施策」を車の両輪として推進し、将来にわたって国民生活に不可欠な食料を安定的に供給し食料自給率の向上と食料安全保障の確立を図るため、食料の安定供給の確保や、農村の振興、農業の持続的な発展のための各種施策を講じることとしております。

さらに、SDGs 環境を重視する国内外の動きが加速する中、持続可能な食料システムの構築に向け、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現させるため、昨年5月に「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、生産から消費までの各段階において、各種の取り組みを推進することが示されました。

県においても、農業者の高齢化や減少、農産物価格の低迷、耕作放棄地の増加などの農業農村の変化とともに、新型コロナウイルスへの対応、脱炭素化、田園回帰、スマート農業などの新たな課題に対応するため、昨年10月に新たな「香川県農業・農村基本計画」を策定いたしました。本計画は、「農業の持続的な発展と活力あふれる農村づくり」を基本目標に、基本方針「儲かる農業の推進、豊かな食の提供、魅力ある農村の実現」を実効性のあるものとするため、「担い手の確保・育成」、「農産物の安定供給」、「農産物の需要拡大」、「生産性を高める基盤整備」、「活力あふれる農村の振興」に向かって具体的な施策展開を図ってまいります。

その内、農業農村整備については、大雨や地震などの自然災害に備えた、ため池の総合的な防災・減災対策をはじめ、担い手のニーズや地域の特性を活かしたほ場整備や農業用水のパイプライン化、老朽化した農業水利施設の適時的確な補強・補修による長寿命化対策など、農業を支える生産基盤の整備に取り組むこととしており、これらの事業を円滑に推進するためには、貴連合会の皆様方の一層のご支援、ご協力がますます重要になりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と、会員皆様方にとりまして、本年が希望に満ちた明るい年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

香川県農政水産部

次長(兼)土地改良課長 井川 一郎

令和4年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、大山会長をはじめ会員の皆様方には、農業農村整備事業の推進はもとより、県政各般にわたり格別のご協力とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、国においては昨年3月に閣議決定された「土地改良長期計画」において、近年の異常気象の頻発化・激甚化等を踏まえ、国土強靱化の取組みが喫緊の課題であり、農業水利施設等の長寿命化やため池の総合的な対策、さらには河川流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策である「流域治水」の取組を推進することとしております。

こうした中、県では、約20年ぶりにため池の調査を行い、14,619箇所のため池が、12,269箇所と、2,350箇所のため池が減少したところであり、その多くは小規模なため池が長期間のうちに豪雨等の土砂堆積により埋没・荒廃したもので、ため池管理者が減少する中、ため池の適正な保全管理が大きな課題となっております。このため、貴連合会を運営主体とする「香川ため池保全管理サポートセンター」により、ため池の管理状況の調査や劣化状況の評価とともに、管理者に対する適正な管理の指導・助言等を行い、ため池の保全管理体制の強化を図っております。

また、全国に先駆けて平成23年度から取り組んできたため池の耐震化については、今年度に全て完了する見込みとなっているとともに、老朽ため池の整備については、「サポートセンター」による劣化状況の評価により「防災工事が必要なため池」と判断されたため池において、決壊した場合の影響等を考慮し、優先度の高いものから、計画的に実施してまいりたいと考えております。

一方、農業水利施設の長寿命化対策としては、本県の重要なライフラインとなっている「香川用水施設」については、建設以来40年余り経過し老朽化が進行しているため、農業用水区間においては、国営かんがい排水事業「香川用水二期地区」を令和5年度の完成に向けて取り組むとともに、供用区間では、機構営香川用水施設緊急対策高瀬支線により老朽化対策と耐震化整備が順調に進められております。

また、土地改良区の機能や役割が効率的・効果的に発揮できるよう土地改良区の組織運営基盤・事業実施体制の強化を支援するとともに、財務状況の明確化・透明化を図る複式簿記の導入等についても引き続き支援をしてまいりますので、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

香川県農政水産部農村整備課

課長 中村正樹

新年明けましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、大山会長様や組橋副会長様、三笠副会長様をはじめ、会員の皆様方には本県の農業農村整備事業の推進はもとより県政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、農業・農村を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や減少に伴う労働力不足、地域活力の低下、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う消費行動の変化、激甚化する自然災害・気候変動、SDGsに対する国内外の関心の高まりなど多様化しており、これらに柔軟できめ細かに対応していくことが必要となっています。

このような中、国においては新たな「土地改良長期計画」を昨年3月に策定し、農業・農村の目指すべき姿と土地改良事業が重点的に取り組むべき具体の施策として、5つの政策目標と9つの施策を掲げ、持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる農村の実現を目指しているところであります。

本県においては、「農業の持続的な発展と活力あふれる農村づくり」を基本目標に、令和3年度から5年間の本県農業・農村の目指す姿とその施策の方向性を示した「香川県農業・農村基本計画」を策定し、その中で、多様な担い手のニーズや地域の特性を生かした生産性を高める基盤整備や、農村地域における多面的機能の維持、農泊・グリーン・ツーリズムの推進などの活力あふれる農村の振興に資する各種施策を展開することとしています。

本県の農業生産基盤の整備については、担い手農家への農地の集積率や集約率に応じて、地元負担を軽減できる国や県の補助制度の拡充・創設により、基盤整備に対する地元の要望が高まっているとともに、ICT用したスマート農業の1つとして、多機能型水田水管理省力化システムが開発され、各種補助制度での導入が可能となっているため、担い手農家等を中心にその導入メリットについて説明し、事業を推進しているところです。

また、新型コロナ禍における「田園回帰」志向による人の流れが全国的な広がりを見せる中、農村地域における交流人口の増加を図るとともに、住民とともに地域を支える関係人口の創出・拡大や、移住・定住に向けた取組みを進めるため、農泊やグリーン・ツーリズムでの農業体験プログラムの充実や、就農体験や交流活動の企画・実施などを行い、農村のファンを地域の人材として呼び込み、活力ある農村づくりに努めてまいりますので、関係の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

第2回監事会開催

12月15日、香川県土地改良事業団体連合会会議室において、令和3年度本会第2回監事会を開催した。

監事会は、監事2名出席のほか本会会長、常務理事の立会いのもとに中間監査が行われた。

監査の結果、本会の予算執行状況並びに財務状況についていずれも適正に処理されているとの報告があり、全議案が承認された。



監事会の様子

議案

- (1) 令和3年度中間監査実施計画について
- (2) 令和3年度予算執行状況及び財務状況報告について
- (3) 令和3年度一般会計収支補正予算について

第191回理事会開催

12月20日、香川用水記念会館1階多目的室において、本会第191回理事会を開催した。

冒頭、大山会長から、11月の農業農村整備の集い及び予算要望活動等の実施や、香川ため池保全管理サポートセンターの活動内容について報告があった。また、農業者の高齢化や減少に鑑み土地改良法が改正され、昨年度に引き続き今年度は4土地改良区の合併予定がある。合併ありきではなく、土地改良区の理解を頂きながら体制強化の一環として支援するとともに、引き続き予算や制度について国などの関係機関に要望していく所存であるので、ご理解・ご協力をお願いしたい旨の挨拶があった。

その後、新池伸司香川県農政水産部長からの来賓挨拶に引き続き、大山会長が議長となり、下記の2議案が審議され、いずれも原案どおり承認され閉会した。

議案

- (1) 香川県土地改良事業団体連合会職員給与規程の一部改正の専決処分の承認について
- (2) 令和3年度一般会計収支補正予算について



本会 大山会長による挨拶



香川県農政水産部 新池部長より挨拶

農業農村整備関係の令和3年度補正予算及び令和4年度予算の概算決定

12月24日、令和4年度政府予算案が閣議決定された。農林水産省の予算総額は対前年度比99.7%の22,777億円（臨時・特別の措置を除く）、このうち、農業農村整備関係予算の概算決定額は対前年度比100.5%の4,453億円となった。これに、令和3年度補正予算を加えると6,285億円（対前年度比141.9%）となる。

総括表

区分	3年度予算額	4年度概算決定額	3年度補正追加額
	億円	億円	億円
農林水産予算額 (対前年度比)	22,853 —	22,777 99.7%	8,795
1. 公共事業費 (対前年度比)	6,978 —	6,981 100.0%	3,716
一般公共事業費 (対前年度比)	6,780 —	6,782 100.0%	2,880
災害復旧等事業費 (対前年度比)	198 —	200 100.6%	836
2. 非公共事業費 (対前年度比)	15,875 —	15,796 99.5%	5,079

- (注) 1 金額は関係ベース。ただし、デジタル庁計上の政府情報システム予算（3年度予算は、4年度予算でデジタル庁計上の政府情報システム予算）を除く。
 2 デジタル庁計上の政府情報システム予算は、3年度予算額197億円、4年度概算決定額207億円。
 3 計数整理の結果、異動を生じることがある。
 4 計数は、四捨五入のため、端数においては合計とは一致しないものがある。

農業農村整備事業関係予算の概要

区分	令和3年度 予算額	令和4年度 概算決定額 A	令和3年度 補正追加額 B	合計 A+B
	億円	億円	億円	億円
農業農村整備事業(公共) (対前年度比)	3,317 —	3,322 100.1%	1,832	5,154 155.4%
農業農村整備関連事業(非公共) (対前年度比)	518 —	540 104.3%		540 104.3%
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;"> 農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金 </div> 農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分) (対前年度比)	595 —	591 99.5%		591 99.5%
計 (対前年度比)	4,430 —	4,453 100.5%	1,832	6,285 141.9%

- (注) 1 このほか、政府情報システム予算の農業農村整備事業関係予算が15億円
 2 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

令和4年度概算決定の概要

農業農村整備事業の令和4年度概算決定については、農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化を図るため、農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の適切な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、防災重点農業用ため池防災・減災対策、農業用ダムの洪水調節機能強化や田んぼダムの取組拡大等を実施・支援するとともに、農村地域のインフラの持続性の確保と農村の活性化を図るため、集落排水施設や農道の再編、強靱化、高度化等の定住条件の整備を支援するため、3,322億円を概算決定。

農山漁村地域整備交付金の農業農村整備分及び非公共事業である農地耕作条件改善事業等と合わせて、対前年比100.5%の4,453億円が概算決定。なお、これらに令和3年度補正予算1,832億円を加えると、対前年度比141.9%の6,285億円となる。

令和4年度概算決定 主要事業

○農業農村整備事業

農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化を図るため、農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の適切な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、防災重点農業用ため池の防災・減災対策、農業用ダムの洪水調節機能強化や田んぼダムの取組拡大、農道、集落排水施設の整備等を推進する。

○農地耕作条件改善事業

農地中間管理機構による農地の集積・集約化、麦・大豆や高収益作物への転換を推進するため、機構による担い手への農地の集積・集約化が行われる地域等において、農業者の費用負担の軽減を図りつつ、農地の区画拡大等を支援する。

○農業水路等長寿命化・防災減災事業

農業生産活動の基盤となる農業水利施設の機能を安定的に発揮させるため、機動的・効率的な長寿命化・防災減災対策を支援する。

○農山漁村地域整備交付金

地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付する。

香川県管理運営体制強化委員会第2回管理専門指導員会

12月17日、香川県土地改良事業団体連合会会議室において、香川県管理運営体制強化委員会第2回管理専門指導員会を開催した。香川県農政水産部の井川一郎次長を迎え、各土地改良事務所長をはじめ、専門指導員の出席のもと、令和4年度新規加入土地改良施設維持管理適正化事業実施計画について協議を行った。



香川県農政水産部 井川次長による挨拶

令和4年度の新規加入施設(46期生)は、揚水機2ヶ所、排水機1ヶ所、樋門1ヶ所、頭首工3ヶ所、ため池3ヶ所、管水路1ヶ所、水路1ヶ所の計12ヶ所であり、実施予定年度については管理指導事業による診断結果等において必要と認められた整備補修の緊急度の高い順に決定した。

今後、農政局及び全国連合会と協議を行い、全国連合会が実施計画を取りまとめ、農村振興局に報告することとなっている。

**大川・中部地区土地改良協議会・高松市土地改良区
連合会合同周知会並びに土地改良相談開催**

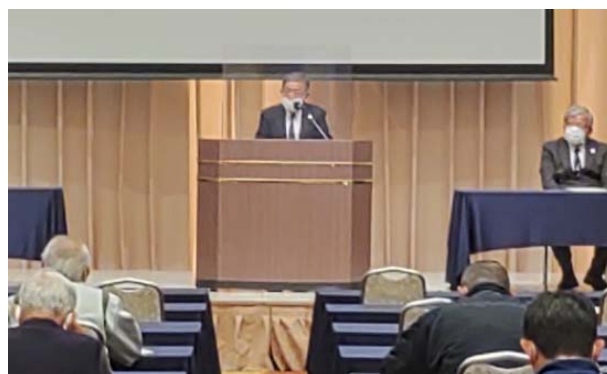
12月21日、ホテルパールガーデンにおいて、大川地区土地改良協議会及び中部地区土地改良協議会並びに高松市土地改良区連合会合同主催による土地改良事業周知会が開催され、引き続き本会の土地改良相談を実施した。

周知会には、各管内土地改良区の役職員54名が参加し、令和4年度概算予算についてなど3項目の説明を受けた。

カリキュラム	講師
1. 令和4年度 概算予算について	香川県東讃土地改良事務所指導課 課長 柳澤 和彦
2. 災害復旧事業について	香川県土地改良事業団体連合会事業課 主任技師 山本 祐毅
3. 土地改良施設定期診断対象施設の基準及び定期診断施設の見直しについて	香川県土地改良事業団体連合会事業課 課長補佐 坂本 晃一



大川地区土地改良協議会 大山会長による挨拶



中部地区土地改良協議会・高松市土地改良区連合会
三笠会長による挨拶



香川県東讃土地改良事務所 宮崎所長による挨拶



土地改良相談

土地改良相談では、高松市香西土地改良区外5土地改良区から、小規模の土地改良区で組合員が減少していく中、土地改良区を維持していくことについての要望や事業制度などについて相談があり、香川県東讃土地改良事務所長をはじめ相談員が各相談事項に対し回答がなされた。なお、土地改良相談は随時受け付けていますので、お気軽に相談下さい。

中讃管内土地改良事業研修会並びに土地改良相談開催

12月23日、丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスにおいて、仲多度土地改良事業推進協議会並びに綾歌土地改良協議会主催による土地改良事業研修会が開催され、引き続き本会の土地改良相談を実施した。

研修会では、各管内土地改良区の役職員86名が参加し、令和4年度農業農村整備事業概算要求の概要についてなど4項目の説明を受けた。

カリキュラム	講師
1. 令和4年度農業農村整備事業概算要求の概要について	香川県中讃土地改良事務所事業第1課 課長 岩瀬 信夫
2. 香川県の集落営農の現状について	香川県中讃農業改良普及センター 主席普及員 秋山 修一
3. 多面的機能支払交付金における取り組みについて	香川県中讃土地改良事務所指導課 課長 太田 靖史
4. 土地改良施設の定期診断について	香川県土地改良事業団体連合会事業課 課長補佐 坂本 晃一



仲多度土地改良事業推進協議会 栗田会長による挨拶



綾歌土地改良協議会 前川会長による挨拶



香川県中讃土地改良事務所 長尾所長による挨拶



本会 野瀬常務理事による挨拶

土地改良相談では、まんのう町土地改良区外5土地改良区から農地転用時の転用決済金及び他目的使用料の考え方や水路の排水問題などの相談があり、香川県中讃土地改良事務所長をはじめ相談員が各相談事項に対し回答がなされ、案件によっては個別相談の案内をさせていただいた。

会と催し

開催月日	会の名称	開催場所
12月14日	土地改良区会計に関する相談	高松市
12月15日	本会令和3年度第2回監事会	高松市
12月16日	第93回香川用水記念会館管理委員会幹事会	高松市
12月17日	香川県管理運営体制強化委員会第2回管理専門指導員会	高松市
12月17日	令和3年度四箇池土地改良区役員会	高松市
12月19日	高校卒業見込職員募集1次試験	高松市
12月20日	本会第191回理事会	高松市
12月20日	香川県農業再生協議会第30回総会	高松市
12月21日	大川・中部地区土地改良協議会・高松市土地改良区連合会合同周知会並びに土地改良相談	高松市
12月22日	土地改良法改正に関する説明会(WEB会議)	高松市
12月23日	中讃管内土地改良事業研修会並びに土地改良相談	丸亀市
12月26日	高校卒業見込職員募集2次試験	高松市
1月6日	令和3年度農林水産検査第2課会計実地検査市町等説明会	高松市

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

令和四年 元旦

水士里ネット香川
(香川県土地改良事業団体連合会)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|-----------|--------------|------------|------------------|------------------|--------|-------|---------------|-------------|-------|-----|----|
| 監事 | 代表監事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 常務理事 | 副会長 | 副会長 | 会長 |
| 志村忠昭 | 森川光典 | 山田勉則 | 石井和義 | 薦田通夫 | 宮本欣貞 | 田中孝博 | 前川昌也 | 國重進 | 齋藤勝範 | 山本貞二 | 栗田隆義 | 野瀬康弘 | 三笠輝彦 | 組橋啓輔 | 大山茂樹 | | | |
| 多度津町土地改良区理事 | 良区理事 | 観音寺市高室土地改良区理事 | 香川県三郎池土地改良区理事 | 綾歌郡永富池土地改良区理事 | 豊稔池土地改良区理事 | 四箇池土地改良区理事 | 白鳥土地改良区理事 | 坂出市江尻土地改良区理事 | 満濃池土地改良区理事 | 香川県三豊市三野町土地改良区理事 | 内海町安田三五郎池土地改良区理事 | まんのう町長 | 学識経験者 | 香川県内場池土地改良区理事 | 香川用水土地改良区理事 | さぬき市長 | | |

外職員一同